

令和 4 年度 高齢者日常生活圏域ニーズ調査について

令和 5 年度に策定する第 9 期総合介護計画に向けて、アンケート調査を実施し、集計、分析を行い高齢者の現状及び生活実態、地域のニーズ等を把握するとともに、第 8 期計画で設定した 2025 年までの長期目標に対する進捗確認を行い、第 9 期計画策定の基礎資料とすることを目的として、市民を対象にニーズ調査を実施します。

ニーズ調査について、計画策定の支援業務を含む委託契約を行い、事業者には調査の実施、分析を委託します。

業者の選定については、令和 4 年 8 月 3 日に業者選定会を実施し優先交渉者を決定しました。

今後においては、別紙スケジュールの予定で進めていきます。

【事務局】近江八幡市介護保険課

担当：森

TEL：0748-33-3511

FAX：0748-31-2037

Eメール：010804@city.omihachiman.lg.jp

1. 調査目的

令和5年度に策定する第9期総合介護計画に向けて、アンケート調査を実施し、集計、分析を行うことで、高齢者を取り巻く現状及び生活実態、地域のニーズ等を把握するとともに、第8期計画で設定した2025年までの長期目標(数値目標)に対する進捗確認を行い、第9期計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査内容

国が示す日常圏域ニーズ調査の調査票例をもとに、調査項目を追加・修正し、調査を行う。

3. 実施期間

令和4年10月～令和5年3月

4. 実施方法

対象者：市内に居住する第1号被保険者(65歳以上、要支援・要介護者を含む)

調査種類：抽出調査 回答は無記名式

調査方法：配布・回収は郵送方式

対象者数：第1号被保険者数 22,935人 *R4年3月末時点

要求精度：10%程度

回収率：60%

配布数： $22,935人 \times 10\% \div 0.6 = 3,823人 \approx 4,000人$

回答謝礼：謝礼なし

集計：①クロス集計や多重クロス集計による課題要因分析。

②国配布の生活支援ソフト使用し、圏域別・地域別に認知症リスクや転倒リスク等の判定を行う。

5. 期待成果

- ・課題の明確化・可視化
- ・実効性のある事業計画の策定
- ・政策決定のための基礎資料

6. 実施体制

委託：調査票基本設計、印刷、封入、ラベル貼り、発送、データ入力、集計・分析、分析データからの施策立案、協議会資料作成、報告書作成

市：調査票の回収・保管、委託業者への発送

7. スケジュール

令和4年8月中	国の調査票例の公表
	業者選定(入札)
9月上旬	委託契約締結
9月下旬	調査票基本設計
	市広報、市HP周知啓発
11月上旬	調査票発送
11月中旬	提出期限
12月～	データ入力完了単純集計、クロス集計
	データ分析による課題整理
令和5年3月中	協議会報告、政策提言まとめ、報告書作成